

技術士 1 次試験に合格して



大友 凌

(おおも しのご)

勤務先

内外エンジニアリング北海道株式会社

技術部

〒060-0051 札幌市中央区南 1 条東 1 丁目 3 番地 パークイースト札幌 2F
TEL 011-271-8511 FAX 011-271-7585

E-mail ohtomo.shinogu@naigai-eng.co.jp

■ 専門：農業部門

自己紹介

1993 年 2 月 1 日生まれ。出身は北見市で物心つく前には札幌市に移住し、小中高は札幌市や函館市などを転々としながら過ごしました。大学は実家を出て帯広市で過ごしました。大学では主に農業土木を専攻しました。

その後、御縁があって大学時代に専攻していた農業土木と深く関わりのある札幌市の建設コンサルタント会社に就職しました。

入社後は主に農業農村整備事業に係わる調査や設計の業務を担当しています。

受験のきっかけ

大学時代に技術士一次試験の存在を知り、一度受験を考えました。しかし、当時の私はこの資格の価値を理解していなかったため、受験するまでには至りませんでした。

入社後、社内において技術士という資格がとても重宝されていることを知りましたが、業務との兼ね合いもあり中々時間を取れず、またもや受験するまでには至りませんでした。

しかし、今回は会社の後押しや職場の同僚も受験をするという事もあるって、ようやく受験をする決心が付きしました。

受験体験

基礎・適正科目については過去問集を基に勉強しました。半年ほどかけて過去 10 年分の問題を何度か周回し、出題傾向を掴みました。苦手分野は別途参考書を購入して基礎から学び直しました。長らく受験勉強から離れていたということもあって、半年間コツコツ勉強といった感じではなかったですが、周回の成果もあって一通り問題を理解することが出来ました。

また、職場に自分以外に 4 人の受験者がいたとい

うこともあって、仕事の合間を縫って勉強会を開き、出題傾向の高い問題をピックアップし、互いに教え合いながら苦手を潰していきました。

専門科目については業務で携わっている農業土木の問題が多く出題される傾向があったため、それほど多くの時間を費やさずに対策を練ることが出来ました。対策は主に過去問 3 年分を周回する形で行いました。

試験本番では基礎科目の時間が足りず、選択した問題を最後まで解ききることが出来ませんでした。適正科目・専門科目については概ね問題に解答することが出来ました。総合的に見て、少し不安が残る結果に終わってしまいましたが、蓋を開けてみると、ギリギリ合格ラインを突破出来ていたのほっとしました。

最後に

試験日の前日に市民マラソン大会(10km)に出場することが決まっていた。初めてのマラソン大会で完走できるかどうか危うかったため、直前の一ヶ月は走ったり、勉強したりと普段だらだらしている自分にとってはとてもハードな日々が続きました。しかし、うまい具合に日常にメリハリが付き、結果的にマラソンの完走と試験の合格の両方を達成することが出来たので良かったです。

今後は技術士第二次試験の合格を目指し、自己研鑽に励んでいこうと思っています。試験勉強で得られる知識はそのまま業務でも生かすことが出来るものが多いため、試験勉強をする事で業務にも良い影響を与えられると思っています。

最後になりますが、今回の技術士一次試験に向けて支援して頂いた職場の皆様に心より感謝申し上げます。